

## 千里国際学園 中等部・高等部

新シリーズ「Authentic Opportunities 本物に触れる教育」

### 第4回 夢にときめけ！

体育科・入学センター 相良 宗孝

「最高の選手ではなく、最高のスポーツマンを育てる」

本校でもこのポリシーの元、世界各国の多くのインターナショナルスクールで採用しているシーズン制のクラブ活動を採用しています。

#### <シーズン制スポーツ>

1年を4シーズンに分け、秋には野球、テニス、バレーボール、冬にはバスケットボール、春の前半にはサッカー、春の後半にはソフトボール、卓球、バドミントンというさまざまなスポーツをめまぐるしく展開しています。また、トライアスロン部のように、年間を通じて活動しているクラブもあります。

私自身も、授業時間は体育教師として、放課後には、秋は高等部の野球のコーチ、冬は中等部のバスケットボールのコーチとして生徒とともに活動しています。

日本の学校でありながら、併設のインターナショナルスクール(OIS)とともに活動しているために、シーズン制で対戦相手は常に国内外のインター校である本校のスポーツの実態は「百聞は一見にしかず（＝体験するまではわかってもらにくい）」と

思いますので、今回は、野球部について、つい先日の、まだ興奮冷めやらない試合の実況中継を交えながらお話をさせていただきます。

#### <野球>

野球は本校ではとてもポピュラーで、毎年たくさんの生徒がサインナップに来ます。（小さな学校なので、基本的にトライアウト等は無く、サインナップした生徒はすべて大切なメンバーとして1シーズンがんばってもらいます）

元々小さいころから、それこそ野球少年出身の器用な選手も多いですが、中には野球というスポーツは、ちょこっと見たことがある程度で、やったことは全く無いという生徒もいます。高校生は硬式球で月、水、金と練習し、中学生は、軟式球で火、木と練習し、共に週末の土曜日はほぼ毎週試合というなかなか忙しいシーズンになります。

シーズンの中間や終わりには、国内外のインターナショナルスクールとのトーナメントに出場します。毎年対戦するライバル校との試合は熱いものがあり、とても白熱します。試合中は勝つためにお互い全力を尽くし、負けると号泣という生徒も数多くいます。

もちろん試合後はラグビーのノーサイドの精神のように、お互いをたたえあい、楽しそうに会話するなどインターならではの交流も楽しんでいます。

「あいつらやばい、あんな小さいのにあいつら半端じゃないわ、基礎がきっちり出来ているから大崩れしないのが強みやな～」

これは、体つきが半端じゃないメンバーばかりのチームに、技術や戦術で



女子バレーボール



女子サッカー